

# ハンドボール NO35

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	9
----------	---

年月日	2022年10月6日(木)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

## 公 式 記 録 用 紙

A	兵庫県										栃木県										B
野木県		市町村		会場		野木町立野木中学校体育館										回戦					
栃木県		野木町		野木町立野木中学校体育館		1回戦															
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m罰 ショット	A	B							
	10	8	28	17																	
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			B			7m得点/総数											
0/1		1		2 後 3			1			2 後 3		2/4									
		2559		1759			1013			0606		2612									

No.	兵庫県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	栃木県	G	W	2'	2'	D	DR
1	鶴谷 真涼							1	今川 美鈴						
2	黒木 優	1		1				2	小林 琉瑠						
3	伊原 泉							3	七五三掛 佑衣	5					
4	中野 柚季			1	1			4	郷 聖奈	1					
5	矢野 真尋	5						5	羽田野 真瑚						
6	北 和香奈	4						6	小林 花奈	2					
7	川岸 真依	2		1				7	大竹 麻心	3					
8	楠本 楓歩	8	1					8	菊地 結愛	1	1				
9	和田 夏由美	1						9	播岡 沙英	2					
10	望月 瑚雪	2						10	久我 友来	3					
11	後藤 結香	5						11	渡辺 咲蘭						
12	由井 美羽							12	小林 礼実						
監督A		野路 良子						監督A		小西 正寿					
役員B		楠木 胡桃						役員B		河先 修					
役員C		野路 嗣治						役員C		伊集院 聖悟					
役員D		藤井 雪実						役員D							

A	野路 良子	チーム役員A署名	小西 正寿	B
---	-------	----------	-------	---

特記事項

レフェリー	田貝 基	田畑 椋汰	田貝 基	田畑 椋汰
TD	塚田 薫宣		塚田 薫宣	田畑 椋汰
MO	樋口 道夫			

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール NO 34

## 第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

### 試合結果・戦評報告書

競技日	10月6日(木)	試合番号	E-8	回戦	1回戦
種別	少年女子	会場	野木町立野木中学校体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
兵庫県			栃木県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	10	前半	8	17	
	18	後半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

#### 戦評

地元の大声援を受けた栃木と兵庫の試合は、栃木⑩久我のミドルシュートで先制し、幕を開けた。序盤はお互いになかなか点が入らず膠着した状態が続いたが、兵庫は左サイドを中心に攻撃を展開し、⑧楠本のサイドシュートで連続得点、3対1となったところで栃木がタイムアウトを取る。中盤に入り、お互いの攻撃が激しさが増してくると、兵庫④中野がディフェンスの反則で退場となり、栃木が数的有利な展開に。その間、栃木は③七五三掛、⑦大竹の左サイドからの攻撃で一気に逆転すると、⑨菊地が粘り強いプレーでシュートをねじ込み5対3とリードを奪った。しかし、兵庫は慌てることなくセットオフENSを仕掛け、⑧楠本、⑩後藤のコンビプレーを駆使して6対5と逆転。流れが兵庫に傾きかけたが、ここで兵庫は立て続けに退場者を出す苦しい展開になり、栃木は⑦大竹の連続得点で再び逆転した。栃木が8対6でリードのまま終盤に入ったが、ここから兵庫の堅い守りを崩せず、得点が奪えない苦しい時間帯が続く。一方で兵庫は⑩後藤⑤矢野の左サイドの攻撃や②黒木、⑩望月の速攻で4連続得点し、10対8の2点リードで前半を終えた。

後半に入ると、兵庫は⑩望月、⑤矢野、⑧楠本の得点でじわじわと差を広げる。一方、栃木は7mTのチャンスを得るものの得点が奪えず、序盤の約7分間得点が動かない。流れを変えるべく栃木ベンチがタイムアウトを取ると、それが奏功し、⑩久我、⑥小林の連続得点で13対10の3点差まで詰めよった。しかし、兵庫はそこから多彩な攻撃を展開し、18対11まで点差を広げた。中盤、栃木は③七五三掛のスカイプレーで息を吹き返し、19対15まで追い上げてゲームは終盤に突入したが、ここから兵庫は⑧楠本の左サイドシュートやパスカットから⑥矢野の速攻で6連続得点して一気に栃木を突き放して25対15とし、この試合最大の点差をつけた。栃木も④郷のサイドシュートで最後に追い上げを見せたが、28対17で試合終了。栃木の粘りも及ばず、兵庫が準々決勝に勝ち上がった。

記載者氏名

青木 圭

送信日時

10月6日(木) 17:53